

国際シンポジウム「冷戦下における日本と中華圏の人物交流史」

主催：東洋文庫現代中国班「国際関係・文化」グループ

共催：三菱財団人文科学研究助成（代表・中村元哉）

日時：2021年9月10日（金）

形態：完全オンライン（東洋文庫 Webex end-to-end 版）

言語：中国語 ＊通訳は原則なし

申し込み：下記フォームからお申し込みください。期限は、8月31日です。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScIVK-QLXv8LX07x5HB3017uI5V7-rkKpwst7HG14GKDi4iFQ/viewform?usp=sf_link

その他：配布可能な資料のみ、当日、Webex の機能を使って参加者全員に配布致します。

趣旨

東洋文庫現代中国班「国際関係・文化」グループは、近年、東洋文庫に所蔵されている日中戦争期の「満洲国」および汪精衛政権に関する史資料や戦後の日中交流史を物語る日本人中国旅行記を精力的に整理してきた。これらの基礎作業から得られた新たな知見は、戦前・戦中の日中間の人的ネットワークが戦後の冷戦下における日本と中華圏（中国、香港、台湾）の人の往来へと連続していることであった。むろん、戦前・戦中・戦後には不連続性も存在し、台湾海峡を挟んだ中国分断や日中の不正常な関係による特殊性も見落としてはならない。

本シンポジウムは、以上のような人物交流史を、東洋文庫の史資料を土台として、中国、香港、台湾の研究者と共有しようとする試みである。この研究は、台湾との断交（1972年）、改革開放（1970年代）、香港返還（1997年）へと至る1970年代から1990年代の日本と中華圏の人物交流史を紐解く歴史的視座を提供することにもなるだろう。

【プログラム】 ＊報告テーマはいずれも仮

総合司会 中村元哉（東洋文庫・東京大学）

10:00-10:10 開会の挨拶 村田雄二郎（東洋文庫・同志社大学）

10:10-12:30 東洋文庫「日本人中国旅行記」から読み解く戦後日中・日台関係史

司会：関智英（東洋文庫・津田塾大学）

10:10-10:25 概要 村田雄二郎（東洋文庫・同志社大学）

10:25-10:40 特徴1：政治団体 中村元哉（東洋文庫・東京大学）

10:40-10:55 特徴2：「満洲国」・汪精衛政権 山口早苗（津田塾大学）

10:55-11:10 特徴3：婦人団体 久保茉莉子（成蹊大学）
11:10-11:50 コメント：楊大慶（ジョージ・ワシントン大学）
潘光哲（中央研究院近代史研究所）
11:50-12:30 討論

[12:30-13:30 昼食]

13:30-15:00 戦前・戦中・戦後の連続と不連続性 司会：吉見崇（東京経済大学）
13:30-14:00 林果顕（政治大学）「冷戦期における日台間の文化交流と人的ネットワーク——出版物の輸出入の観点から」
14:00-14:30 島田大輔（学振PD）「中国専門記者太田宇之助の戦後——戦後の活動とその遺志としての東京都太田記念館」
14:30-15:00 討論

[15:00-15:20 休憩]

15:20-16:50 戦後の諸相 司会：久保茉莉子（成蹊大学）
15:20-15:50 陳学然（香港城市大学）「道徳再建運動における人的ネットワークと思想交流——東京・台北・香港」
15:50-16:20 池田尚広（杏林大学）「人的往来からみる1950～60年代の日中民間交流」
16:20-16:50 討論

[16:50-17:00 休憩]

17:00-18:00 総合討論 司会：中村元哉（東洋文庫・東京大学）
17:00-17:20 黄克武（中央研究院近代史研究所）「総合コメント」
17:20-18:00 討論

18:00 閉会の挨拶 村田雄二郎（東洋文庫・同志社大学）